

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成26年10月16日 (2014.10.16)

【公開番号】特開2013-61244(P2013-61244A)

【公開日】平成25年4月4日 (2013.4.4)

【年通号数】公開・登録公報2013-016

【出願番号】特願2011-199892(P2011-199892)

【国際特許分類】

G 0 1 N 15/14 (2006.01)

G 0 1 N 21/64 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 15/14 J

G 0 1 N 15/14 C

G 0 1 N 15/14 P

G 0 1 N 21/64 Z

G 0 1 N 15/14 G

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月3日 (2014.9.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

微小粒子からの光を検出波長域が異なる複数の受光素子により検出する検出部と、該検出部により取得された前記光の強度値を、各受光素子の検出波長域幅で補正して、第一の補正強度値を算出する処理部と、を有する微小粒子測定装置。

【請求項 2】

前記検出部は、微小粒子からの光を分光する分光素子と、検出波長域が異なる複数の受光素子が配列された受光素子アレイと、を含む請求項 1 記載の微小粒子測定装置。

【請求項 3】

前記処理部は、前記第一の補正強度値を、各受光素子の感度データを用いて補正して、第二の補正強度値を算出する請求項 2 記載の微小粒子測定装置。

【請求項 4】

前記処理部は、一の軸を前記検出波長とし、他の一の軸を前記第一の補正強度値又は前記第二の補正強度値とするスペクトルチャートを生成し、表示部に出力する請求項 2 又は 3 記載の微小粒子測定装置。

【請求項 5】

前記処理部は、一のパラメータを前記検出波長とし、他の一のパラメータを前記第一の補正強度値又は前記第二の補正強度値とするスペクトルデータを生成し、記憶部に保持された基準スペクトルデータと比較して、両者が一致しているかあるいは不一致であるかを前記表示部に出力する請求項 4 記載の微小粒子測定装置。

【請求項 6】

スペクトル型フローサイトメータである請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の微小粒子測定装置。